

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

実習企業・機関	米沢市役所 市民環境部 環境生活課
実習期間	平成 30 年 9 月 18 日 ～ 平成 30 年 9 月 25 日
学生氏名	佐藤海斗
実習プログラム	<p>実習時間：8時30分～17時15分</p> <p>臭気巡回モニタリング(悪臭現場の堆肥温度、臭気測定)、地下水観測井現場確認(地下水への油漏れ確認)、地球温暖化防止講演会、苦情対応、危機管理概要説明、3.11東日本大震災避難者支援(お茶会)、エコス米沢産業廃棄物最終処分場同行、空き家パトロール同行、不法投棄監視パトロール同行、書類整理、指定管理者導入施設(駅前駐車場・駐輪場)見学、野鳥救護所の見学、かもしかクラブ訓練協力(北部保育園)、民生常任委員会要点整理、交通安全広報車巡回啓発同行、データ入力、中国人技能実習生講習会(交通安全、ごみ分別)、公害苦情現場同行</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>講演会・講習会やお茶会、苦情現場など市役所外での業務に同行することが多く、実際に経験したことでコミュニケーションの大切さを実感することができた。知識がなければ、自分から質問などをしてコミュニケーションをとることが難しい場面が多かったため、普段の生活でニュースを見たり資格取得などの勉強をしたりすることで知識を身につける必要であると学んだ。合意形成については、市役所では住民と企業を仲介する形で行っていると分かった。特に、苦情対応に関しての合意形成は困難な場合が多いため職員の方々でも悩むことが多く、状況に応じた適切で迅速な判断・対応が重要であると感じた。また、米沢市役所は危機管理体制が十分ではないと教えていただき、危機管理専門の職員が少ないという課題があると知った。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>ごみの分別や不法投棄に関する業務などで課題は見つけることができたが、解決を提案することはできなかった。これからは行政に加えてまちづくりについても学びを深め、具体的な解決策まで考えることができるようにしていきたい。また、子どもから年配の方までの幅広い年齢の住民と関わるため、様々な分野に関心を持ってニュースなどで会話のネタを見つけるなどしていかなければならないと思った。自分の中で考えをとどめておかずに実際に伝えることで、実習する側と職員側の両者の成長につながると教えていただき、これから様々な場面で自分の意見を発言していこうと思った。</p>

<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>環境生活課では環境、廃棄物、生活安全、危機管理、4つの担当で様々な業務を体験することができた。小学校での講演会への同行や苦情現場での対応見学など、市役所外での業務が多いプログラムを用意していただいたことで、職員だけでなく住民の方々ともコミュニケーションをとる機会があり、コミュニケーション力の向上につながった。また、職場の雰囲気も良く、職員同士で協力しながら業務をスムーズに進めていて、職場環境の良さが印象に残った。分からないことがあるとひとつひとつ丁寧に説明してくださったり、世間話をしたりと職員の方々全員が優しく、実習しやすい環境を作っていただいた。そのため、気軽に質問をすることができ、実習での学びが深まった。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	